

必要なものは、カインズで全て揃います。

必要な道具



軍手

長靴

ショベル

土のう袋

メジャー

残土の処分方法

穴を掘った時に出土は、植栽に使うか、袋にまとめて自治体または業者への依頼が必要です。(通常のゴミとしては処分できません)



必要な資材



防草シート

浸透貯留剤
(防犯ジャリ)

購入する砂利の量の目安

「雨庭の面積×深さ(最低30cm)」で目安が分かります。

例:1㎡の雨庭を作る場合、60Lの砂利を17袋購入

お庭を彩る



ガーデニング
ロック

敷石・平板

土

雨水タンク

軽量睡
ロック

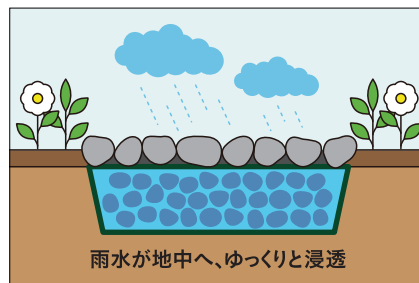
雨庭で、自由に庭作り

水はけの良い雨庭では、植栽や家庭菜園をより楽しめます。植えたい植物も準備しておきましょう。



雨庭とは

雨水を地中に浸透させる機能を持った庭です。水たまりがでにくく、地中に浸透した雨水がしみ上がり、蒸発して周囲の空気を冷やすことで、夏の地面の温度上昇を抑えます。



雨庭におすすめの植物

地表が乾きやすい雨庭では、乾燥を好む植物が向いています。宿根草や球根は一度根を張れば、植えっぱなしでも毎年、花を咲かせてくれるものもあります。水やりや肥料も少なくすみます。(※夏の高温時や雨が少ない場合を除く)

宿根草はカインズ店舗にてお買い求めいただけます



雨庭に興味のある方へ

専門家の声、ライフスタイルに合わせた植栽の提案、DIYでの事例など詳しい情報が盛りだくさん。施工の相談も承ります。

「プロに施工を依頼したい」
「公共空間や法人施設での導入を検討したい」

詳しくは、カインズ雨庭サイトへ

<https://reform.cainz.com/ameniwa/index.html>



Rain Garden
— Ameniwa

四季を楽しむ、雨を喜ぶ。

雨水を味方にする、新しい庭のかたち



DIY雨庭の作り方

水はけが
改善する

夏が
涼しくなる

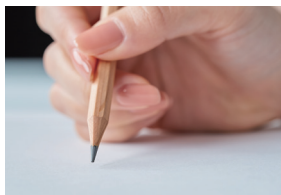
手入れが
楽

CAINZ

① 準備～穴を掘る

準備・設計

まずは面積を決めます。大雨時に敷地を観察すると、水たまりのできやすい所を発見できます。面積を決めることで、必要な資材量の目安もわかります。



作業前に必ずご確認ください

- ・ 家や塀から30cm以上離れている
- ・ 給水・排水管などの埋蔵物がない

穴を掘る

上に砂利などを敷いている場合は撤去します。不要な土・砂利は、土のう袋にまとめます。



残土処理のコツ

底を外して筒状にしたバケツに袋をセットすると、掘った土が入れやすくなります。



深さの確認

深さは最低30cm必要です。仕上げに砂利をのせる場合は、追加10cm掘ります(計40cm)。深さが十分かをメジャーで確認します。



雨庭の基礎(貯留層)部分は、水はけが悪くなるため、踏み固めないよう注意しましょう。

② 材料を入れる

透水シートを敷く

土や砂が混入しないように作業します。



後で蓋ができるように、シートの端は長めに残してカットします。

作業のポイント

- ・ 浸透貯留層の中に土や砂が入らないようにする
- ・ シートに穴が開かないようにする

浸透貯留材を入れる

浸透貯留材(防犯ジャリ)を入れます。シートの際間に砂利が入らないように作業します。



砂利の厚みが均等になるよう、スコップで平らにします。この砂利が雨水を貯め、地中に浸透させる機能を持ちます。

蓋をする

シートで完全に包みます。シートが丸まってしまう場合、スコップなどで固定します。以上で雨庭の基礎(貯留層)の完成です。



③ 庭づくり

\\ ここから先は、自由に庭づくりを楽しめます。 //



ガーデニングロック

バランスよく配置し、景観を作ります。



植栽

植栽と雨庭に高低差をつけ雨水が流れ込みやすくします。



敷石・平板

砂利の上に置くと安定しないため、下に砂を敷いて固定します。



睡蓮鉢や雨水タンク

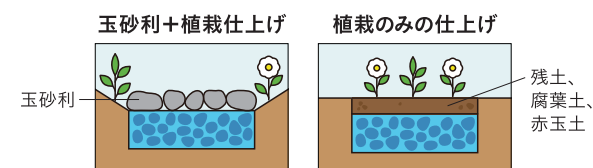
睡蓮鉢は雨水を溜め、散水に。雨水タンクであれば、防災時の生活水として役立ちます。

\\ 雨庭の仕上げ方は、好みに合わせて自由です。 //

完成!



こちらの事例は「玉砂利+植栽仕上げ」の雨庭です。



雨庭の上に直接、植栽をすることも可能です。